kosei
生かされ、生きるチカラ。

子どもたちと地域のために、ほんのご恩返し

鹿児島教会　大迫欣三さん

警備会社に勤務する大迫さんは、夜勤明けの早朝から付近の小中学校の児童生徒の交差点の横断を誘導する児童通学保護員のボランティアに取り組んでいる。大迫さんはいつも子どもたちに、腰をかがめ目線にあわせて名前を呼び、「おはようございます」と大きな声であいさつする。それは、子どもたちを大切にする気持ちと、やがて社会に出たときに、きちんとあいさつのできる大人に成長してほしいとの願いがあるからだ。とはいえ、毎晩、夜勤に従事する身には、負担も大きいはずだ。しかし大迫さんは「子どもたちが無事に登校していく姿を見届け、笑顔にふれられたら夜勤明けの眠気や疲れなど吹き飛びます」と語る。この他にも、通学路のパトロールや、地域住民への防災意識の啓発活動など、声がかかれば、多少の無理は承知の上で役を引き受ける。「ほんのご恩返し」とはにかむ大迫さんだが、地域の安心と安全には、なくてはならない存在となっている。

徳を養い、発揮する

私たちはよく「徳を積む」といいます。その語感から、ともすると徳を貯めたりふやしたりするもののようにとらえがちですが、法華経の「提婆達多品」には「功を積み徳を累ねて」とあります。徳を累ねる、つまり善いことを繰り返し繰り返し行なうその一瞬一瞬の実践が心を豊かにし、喜びと楽しみを味わうことができるのです。

生活のなかで徳を養い、さまざまな場面でその徳分を発揮していく。これは、行住座臥すべてを仏行とする禅宗の考え方とも重なりますが、道元禅師が示された作務の心得に次の三つの心があります。人さまの幸せを喜び、何ごとも感謝で行う「喜心」、思いやりをもってことにあたる「老心」、すべてを大らかに観る「大心」。この三つの心を生活の指針として、徳の香りが周囲を薫ずる生き方をしていきたいと思います。

立正佼成会
www.kosei-kai.or.jp Eメール：info@kosei-kai.or.jp　〒166-8537 東京都杉並区和田2丁目11番1号　TEL.03-5341-1615